Also published as:

EP0114601 (A1) US4491310 (A1)

DE3302036 (A1)

EP0114601 (B1)

## Original document

## VARIABLE FOLDING DEVICE

Patent number:

JP59143863

Publication date:

1984-08-17

Inventor:

ROORANTO RETSUFUERUTO FRANKENTHAL AG ALBERT

Applicant: Classification:

- international:

B65H45/16

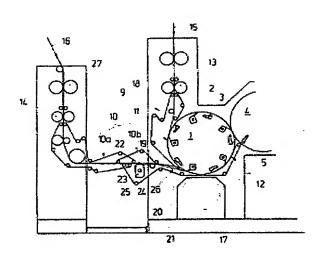
- european:

Application number: JP19840004942 19840117 Priority number(s): DE19833302036 19830122

### View INPADOC patent family

Abstract not available for JP59143863 Abstract of corresponding document: US4491310

For manufacture of booklets consisting of an inner portion and a cover having material different than the inner portion on a folding apparatus including a collecting cylinder, two successively-disposed band guidances associated with the collecting cylinder, surrounding two successively-disposed peripheral segments of the collecting cylinder. One band guidance surrounding the rear peripheral segment transports web segments from which the inner portion is assembled to the collecting cylinder, while the other band guidance which surrounds the front peripheral segment delivers web segments forming a cover to the collecting cylinder. The collecting cylinder is provided with holding members which grip the leading edges of the web segments being set thereon, the holding members being activated in the region of the front peripheral segment. The holding members being inactivated following the completed collection process after passing the folding flap cylinder associated with the collecting cylinder.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

# ⑩公開特許公報 (A)

昭59-143863

⑤Int. Cl.³
B 65 H 45/16

識別記号

庁内整理番号 6869-3F ❸公開 昭和59年(1984)8月17日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 8 頁)

## ❷可変折りたたみ装置

②特 願 昭59-4942

②出 願 昭59(1984)1月17日

優先権主張 ②1983年1月22日③西ドイツ

(DE) @P3302036.1

の発 明 者 ローラント・レツフエルト

ドイツ連邦共和国フランケンタ

ール・ルート ヴイヒスハーフエ ネル・シュトラーセ 8 エー

⑪出 願 人 アルベルトーフランケンタール

・アクチエンゲゼルシヤフト ドイツ連邦共和国フランケンタ ール・ヨーハン‐クライン‐シ

ユトラーセ1

個代 理 人 弁理士 中平治

明和智

1 発明の名称 可変折りたたみ装置

2 特許請求の範囲

1 塩ね胴(1)に折りたたみ胴(4)が付返し、こ の折りたたみ駒(4)の前にある虫ね碉(1)の周 **明部分にベルト条内装置のベルトが巻付けら** れ、1回転ごとにベルト条内装置のベルトに より供給されて異なつた状態で醸ね胴(1)か ら折りたたみ胴(4)へ引渡される谷取り紙断 片の前線用の保持機構(2)が重ね調(1)に設け られているものにおいて、①ね胴(1)が回転 方向に前後して位置する周明部分(11 および 12) に初りなしに咎付く 2 つのベルト案内装 躍(9 および 10)と共尙作用し、回転方向にお いて後の周囲部分(11)に参付くベルト案内装 図(9)により、顧吹に続く複数回転中に退ね 胴(1)上に重ねられて製造すべき冊子(6)の内 側部分(8)を形成する磐取り紙断片が貫ね胴 (1)へ供給可能であり、回転方向において前 の周囲部分(12)に巻付くベルト条内装置(10)

- 2 両方のベルト炎内装器(9.10)のベルトが、 取わ瞬(1)の側で少なくともベルトの幅だけ 側方へ互いにすれていることを特徴とする、 特許翻求の晒囲第1項に記載の折りたたみ装
- 3 両方のベルト条内装置(9,10)の互いに近い

方のベルトループ(18.19)のベルトが、組ね 胴(1)の側で横に並んで設けられてなるべく 共通な軸線のまわりに自由に回転できるよう に支持される転向ローラ(20)に掛け回されて いることを特徴とする、特許調求の範囲第2 項に配銭の折りたたみ装置。

- 5 前後に設けられるベルト案内装置(9,10)の間にある重ね瞬側くさび状範囲に、なるべく

  一部上案内舌片(21)により形成される故葉紙案

  内片が設けられていることを特徴とする、特

  許額求の範囲第1項ないし第3項のいずれか

  1 つに配戯の折りたたみ装置。
- 6 重ね胴(1)の回転方向において核のベルト 条内装置(9)の前においてなるべく重ね順(1) より上に設けられる破裁ち装置(13)を通過す る咎取り紙(15)のなす面が、重ね胴(1)と翻 級状に交登していることを特徴とする、特許

翻求の範囲部」項に記憶の折りたたみ装置。

- 7 超ね腕(1)に付ぬする級じ装数(17)が、表紙(7)に付越するベルト炎内装数(10)の巻付く周囲部分(12)の範囲に設けられていることを特徴とする、特許翻求の範囲第1項に記載の折りたたみ装備。
- 8 数紙(7)に付属するベルト条内装置(10)の 範囲に、なるべく光により作用して要紙の位 置を快出する検出装置(26)が設けられ、製紙 (7)に付照するベルト条内装置(10)の前に設 けられる研練ち装置(14)および(または)こ の模裁ち装置(14)へ入る等取り紙、16)および (または)複数部分からなるベルト条内装置 (10)の後の部分(10a)が、検出装置(26)によ り制御可能であることを特徴とする、特許調 求の範囲部1項に記憶の折りたたみ装置。

(10a)より速く駆動可能であることを特徴とする、特許翻求の範囲第1項に配載の折りたたみ時間。

- 10 ベルト 条 内 装 磁 (10) の 顧 次 に 続 く 部 分 (10a, 14 10b) が それ ぞれ 少 な く と も ベルト の 幅 だ け 個 方 へ 互 い に ず れ た ベルト を も ち 、 そ の 互 い に 近 い 方 の 端 部 範 朗 が 互 い に 数 概 ぎ 状 に は ま り 合 つ て い る こ と を 特 欲 と す る 、 特 許 謝 求 の 範 明 第 9 項 に 配 城 の 折 り た た み 装 儼 。 15
- 11 ベルト条内装置(10)の互いに対応する部分 (10a,10b)が、互いに超なる範囲でほぼ一致 する機送面をもつていることを特徴とする、 特許翻求の範囲第 10 項に心虚の折りたたみ 装置。
- 12 ベルト 冬内装配部分(10s,10b)の互いに R なる範囲が判の大きさに応じて可変であることを特徴とする、特許翻求の範囲第 10 項に R 数の折りたたみ装置。
- 13 それぞれ前のベルト条内装置部分(10b)の 内側ベルト群(19)の後部ローラ(22)が高さ器

節可能であることを特徴とする、特許調求の 範囲第9項ないし第12項のいすれか1つに 記載の折りたたみ数数。

- 14 前のベルト条内装置部分(10b)の晦囲に、 搬送前へ随期的に入り込むストツパ(23)が設 けられていることを特徴とする、特許翻求の 晒明第9項ないし第13項のいずれか1つに 記域の折りたたみ装置。
- 15 ストツバ(23)を形成するため、脳次に続くベルト案内装設部分(10a,10b)の重なり範囲外に軸(24)が設けられ、互いに開闢をおいてそれぞれ2つのベルトの間に入り込むカムがこの軸(24)上に設けられていることを特徴とする、特許期求の範囲第14項に記載の折りたたみ装置。
- 16 ストツバ(23)を形成するカムが、軸(23)上に設けられてベルトに対し互い違いにされた板(25)の半径方向突出片として概成されていることを特徴とする、特許割求の範囲第 15 項に記載の折りたたみ装置。

## 特開昭59-143863(3)

17 ストツパ(23)の入り込み時点が斜節可能であることを特徴とする、特許割求の範囲第 14 項ないし第 16 項のいずれか1 つに配載の折りたたみ装置。

#### 3 発明の詳細な説明

本発明は、取ね脳に折りたたみ脚が付属し、この折りたたみ脚の前にある取ね脳の周囲部分にベルト条内装置のベルトが参付けられ、1回転ごとにベルト条内装置のベルトにより供給されて趾なつた状態で重ね脚から折りたたみ胴へ引渡される巻取り紙断片の前線用の保持機構が取ね脳に設けられている、可変折りたたみ装置に関する。

この図の公知の弦観では、重ね調がそれに珍付くベルト条内装置により物取り紙断片を供給される。このベルト条内装置の前には、初哉ち装置へ供給される通常は複数層の等取り紙を校奨紙状物取り紙断片に分割する被裁ち装置が設けられている。重なる物取り紙断片を綴じ合わせる感じ装置が殴けられていると、折りたたみ

これから出発して本発明の無望は、内側部分およびこの内側部分とは処なる材料からなる設紙をもつ完全製品の製造を折りたたみ装置で行なうことができるにもかかわらず、簡単に構成されて高い速転借類性と製造物度を保証するような最初にあけた種類の可変折りたたみ装置を

装置は完成した製品いわゆる完成品を放出する。 さて多くの雄蕊は、内側部分およびこの内側部 分とは異なりなるべく財い材料からなる製紙か らできている。このような数品は、これまで最 初に述べたような折りたたみ装置で調足できる ようには舞蹈不可能であつた。その興由は、瓜 ね過程ことにそれぞれ2つまたはそれ以上の簪 収り紙断片が鎖ねられるからである。したがつ て複数間の绺取り紙の設紙に殴する間の断片は、 **彩紙の所にあるのみならず、製造された製品の** 内側部分の範囲にもある。概数ち装置へ供給さ れる複数脳の巻取り紙の設紙に既する脳が他の 出より思い紙からできていると、厚い収紙用枚 架紙が生するのみならず、厚い内側枚葉紙も生 じて盛ましくない。この理由からこのような製 品の完全な製造を折りたたみ装置で行なうこと は、これまで不可能であつた。むしろ製本工場 で設紙用枚採紙と内側部分を寄せ築めることが 必要であり、それにより高い人件費、運搬費お よび保管費が必要となる。

提供することである。

この課題を解決するため本発明によれば、重 ね朋が回転方向に前後して位置する周囲部分に 作用し、回転方向において後の周囲部分に巻付 くベルト案内装置により、順次に続く複数回転 中に重ね胴上に重ねられて製造すべき冊子の内 側部分を形成する奪取り紙断片が重ね胴へ供給 可能であり、回転方向において前の周囲部分に 26付くベルト条内装置により、重ね過程に対応 する中断を維持しながら、製造すべき冊子の少 なくとも1つの設紙を形成する碧取り紙断片が 避ね胴へ供給可能であり、枚製紙前線に付属し て平らな単純くわえ爪として檘成された保持機 柳が、武ね胴の1回帳ごとに姿態に付属するべ ルト災内装置の着付いた周囲部分の範囲で動作 可能であり、また両方のベルト案内装置に付降 する魯取り紙の餌なる魯取り紙断片を折りたた み胴へ引渡すごとに、折りたたみ脚より後の周 範囲において動作が止可能である。

これらの手段により重ね胴へ内関部分用枚葉 紙も設紙用枚菜紙も耐接供給される。これによ り折りたたみ装置の機造が 簡単で場所をとら ずしかもこじんまりし、並ね脳へ近づくことが 容易になつて、保守および操作がきわめて容易 になるだけでなく、同時に高い製造精度も保証 される。なぜならばこの場合必紙に属する登取 り紙断片は、餌ね胴の間速に対応する速度で、 顔ね明上で狙ねられて内側部分を形成する巻収 り紙断片上へ直接盤かれ、それにより引渡し値 所の数が減少するからである。妥紙用枚漿紙の 供給が付属するベルト条内装置の範囲で乗ね避 程に対応して中断されるので、内側部分が全体 として製紙用枚雑紙とは與なる材料からできて いるようにすることができる。平らな単純くわ **オボとして概成できる取ね胴用保持機機は、顔** ね腑の1回転ことに再くわえ過程を行ない、110 子のすべての绺取り紙断片が損なると、この再 くわえ過程を有利に行なうので、折りたたみ胸 への確実な引渡しが行なわれる。没紙用枚奨紙 を別個に供給するにもかかわらず可能になる内側部分の浴せ災め爪ね災逃により多い全ページをの内側部分が得られるようにする。別過に保めの内側部分が得られるようにする。別過に保めるとができ、これにより選をがある。のではの側部ののでは、内側部分の範囲における。のとれる利息は特にある。

本発明の毎利な展開では、血む調と共同作用する両方のベルト変内装置のベルトが少なくともベルトの幅だけ側方へ互いにずれているようにすることができる。これにより両方のベルト 次内装置の銀継ぎ状はまり合いが可能になるので、両方のベルト条内装置の窓付く望む調の周囲のの間にきわめて小さい間隔しか生するこ

となく、それにより沿い巡転信報性が別待される。 両方のベルト条内装御の側にあるくさび状 戦闘は、なるべく敬止条内舌片として形成される 枚 彩紙 炙内片により簡単に確認しすることができる。

特にこじんまりした构成とするため、耐方のベルト祭内装置の互いに近い方の側のベルトが、 坦ね刷の側で切に並んでなるべく共通な動線上 に被けられるなるべく與なる直径の転向ローラ に掛け回されているようにすることができる。

本発明の別の有利な构成によれば、虚ね順の回転方向において後のベルト条内装御の前においてなるべく虚ね胴より上に設けられる初裁ち装御を通過する勢取り紙のなす面が、虚ね調と翻線状に交迎している。この登取り紙の面が取ね頭に接線状に接しているこれまでの装御に比較して、盤ね胴への可能な巻付き区間が上方へ有利に切大する。

重ね胸の保持機構がなるべく平らな単純くわ え爪として構成されていることによつて、前の 周囲部分に参付いて祝紙用枚飛紙に付属するベルト条内製製の範囲において動作可能なくわえ 爪がベルトに衝突するおそれはない。

田ね胴に付照する級じ装置を使用する場合、この級じ装置を表紙に付属するベルト ※内装像の勢付く周囲部分の範囲に設けることができる。これにより冊子のすべての脳が重なるときはじめて級じることができる。他ガこれにより非常にこじんまりした装置が得られ、変紙側ベルト ※内装置の端部と折りたたみ脳との間に大した場所は必要にならない。

本発明の別の構成では、製紙に付成するベルト条内装置の範囲に、なるべく光により作用して製紙の位置を使出する使出装置が設けられ、 炎紙に付減するベルト条内装置の前に設けられる
の数ち設置および(または)製紙に減する珍 取り紙および(または)製紙に付減するベルト 条内装置が使出装置により翻御可能であるよう にすることができ、これにより製造精度の向上 が期待される。

別の有利な構成によれば、表紙に付貼するべ ルト条内装留が少なくとも順次に続く2つの部 分からなり、遊送方向においてそれぞれ前にあ る部分がそれぞれ後に設けられる部分より迎く 駆動可能である。この場合必要な中断を恐るた め設紙側の篭取り紙断片の加速は多段に行なわ れ、それにより高度の保護が別待される。その 際ベルト条内装置の順次に続く部分がそれぞれ 少なくともベルトの幅だけ側方へ互いにすれた ベルトをもち、その互いに近い方の錯怒感明が 互いに競雑ぎ状にはまり合つているようにする ことができる。異なる速度で駆励される両方の 部分がこのように取なつて! るため、これによ り搬送される奢取り紙断片 強制的に条内さ れかつ整列されながら、低速の部分から高速の 部分へ有利に引渡され、両方の部分の間に歴期 し易い案内案子は必要でない。

別の有利な手段では、複数部分からなるベルト条内装置のそれぞれ前の高速のベルト案内装 図部分の後の上部ローラが高さ関節可能である。

により排紙される。

第2図に全体を6で示すような個子を、取い 材料からなる製紙7と数枚の薄い材料からなる 内側部分 8 とをもつ完成製品として製造するた めに、角ね胴1に2つのベルト※内装置9,10 が付紙して、折りたたみ剛1の前に設けられて、 前後に位置する近ね胴1の2つの周囲部分11、 12 に 替付いている。 ベルト 条内装留 9,10 の前 にはそれぞれ微数ち装置 13.14 が設けられて、 それぞれ供給される磐取り紙 15,16 を枚漿紙状 断片に分捌し、これらの断片がベルト案内装置 9,10を介して重ね瞬」の周速まで加速され、 この重ね胴1へ引渡される。ベルト案内装置 9, ように駆励されている。置ね明」の回転方向に おいて後の周囲部分 11 に 替付くベルト条内装 囮9により、重ね胴1は内側部分8となるよう に俗せ災められる磐取り紙 15 の断片を供給さ れる。最ね刷1の回転方向において前の周明部 分 12 に巻付くベルト案内装置 10 は、設紙 7 を

この手段は移行範囲における複類節を可能にする。

別の有利な手段は、前の高速ベルト案内装置部分の範囲に、搬送面へ周期的に入り込むストッパが設けられ、その速度がベルト速度に比較してなるべく少し低くされている。この手段により設紙用枚梁紙の綿健な問期化が可能となる。

本発明のそれ以外の適切な概成と有利な展開は、特許請求の適出の他の実施機様項と共に図 適による実施例の以下の説明から明らかになる。

部」図に示す折りたたみ装録は低ね調1を含み、そのつど供給される物取り紙断片の前縁をたつかび供給される物取り紙断片の前縁をたったが、では、では、折り刃3から引渡された重ね枚乗れた。では、折りたたみ調4と共同作用することには図示してないベルト案内装置および羽根取

形成する磐取り紙 16 の断片を狙ね嗣 1 へ供給する。

設紙 7 はあらかじめ作られた幅の狭い巻取り 抵から抵断される。内側部分8を含む沓収り紙 15 は、鯖の広い田顕巻取り紙から分割された 条片により形成される根数Mからできている。 ページ数の多い 冊子 6 を製造するために、容取 り紙 15 は、この容取り紙 15 の 2 つまたはそれ 以上の断片を迫ね脳1により周知のように重ね ることができるように、印刷されている。この ため折り刃3は、引受けられた組ね枚葉紙が直 ちに再び引渡されず、2回転以上型ね崩)上に 残留するように制御されるので、複数の取ね枚 災紙が順次排出される。変紙7は、狙ねること により形成される各内側部分にただ」つの設証 用枚葉紙が栽せられるように供給される。した がつて容取り紙 16 および微裁ち装置 14 の速度 は、巻取り紙 15 および 切扱ち装置 13 の速度よ り適当に低減されている。ベルト窓内装置 10 により、姿紙 7 を形成する魯取り紙 16 の断片

が取ね順1の間逆まで加速され、それぞれ2つ の順次に続く断片の脚に中断が生する。図示し た実施例では、巻取り紙 15 のそれぞれ 2 つの 断片が内側部分8を形成するため型ねられる。 このため重ね明1は5ピツチをもつている。折 り刃3は、1つおきの折り刃が折り脳4のそは を通る際動作せしめられるように制御される。 巻取り紙 16 および横裁ち製造 14 の速度は、巻 取り紙 15 およびこれに付属する概義ち装置 13 の速度の50%になつている。収紙7を形成する それぞれ2つの脳次に続く盗取り紙16の断片 の間に必要な中断は、それぞれ1つの断片長に 等しい。したがつて必要な固速は有利に限界内 にある。 200 沿される 400 千 6 の 所 32 の ページ 数を 得るのに1回の重ね過程では不充分ならば、視 数回 取ねることができる。

保持機構2を形成するくわえ爪は、図示した 実施例では平ちな単純くわえ爪として構成され ている。これらのくわえ爪は、まずベルト条内 装置9により進ね膊」へ引渡された部1の巻取

る破裁ち装យ 13 は狙ね網」より上に配限されている。 炎紙用き取り紙 16 に付ばする破裁ち装置 14 はこれに対し平行にずれている。 後の周囲部分 11 に参付くベルト※内装置 9 は、上から狙ね網」近づけられる。できるだけ大きい巻付きを実現するため、横裁ち装置 13 の動作問録は、それを通過する参取り紙 15 の面に対して平行に重ね網」へ接する接段の少し内側に配置され、換售すれば横熱ち装置 13 を通過する参取り紙 15 のなす面が重ね網」に調線状に交送している。前の周囲部分 12 に巻付くベルト変内装置 10 は、側方から銀ね網」へ近づけられ、したがつて 90° 転向する。

ベルト 冬内装置 9 および 10 は、 微に並んで配置されたベルトにより形成される 2 つの接し合う 契なる 長さのベルトループからできている。それぞれ 長い方の外側ベルトループは 散ね 明 1 の 周囲部分 に 巻付いている。 短い方の内側ベルトループは 巻付き部分の前にある 周囲範囲に終っている。 後の 周囲部分 11 と前の 周囲部分 12

り抵断片をくわえ、次の進ね過程において再び くわえる。 再くわえはベルト 楽内装 綴 10 の登 付く舵の周囲部分 12 の範囲で行なわれ、内側 部分8のすべての心と設紙7を形成する枚葉紙 とが互いに誰なり、くわえられる。平らな単純 くわえ爪は損傷のおそれなく再くわえを行なう ことができ、すなわちベルト案内装置 10 によ り押付けられる選ね枚契紙の下で引出される。 取ね過程の終了に続いてくわえ爪 2 が折りたた み胴4のそはを通過した後、後に設けられた折 り刃3が動作せしめられてそれぞれ対向する折 り目くわえ爪5に係合すると、近ね脳のくわえ 爪 2.が開かれる。折りたたみ胴1への引渡し前 に、狙なつている枚奨紙が綴じ合わされる。こ のため折りたたみ胴4に付照する綴じ装置 17 が設けられるが、占勾場所の少ないこじんまり した配置とするため、ベルト炙内装置 10 の巻 付く前の周囲部分 12 に設けられている。級じ 金は2つのベルトの間の範囲で収付けられる。

内伽部分8を形成する巻取り紙 15 に付属す

との間の境界顕囲において、後の周囲部分 11 に付属するベルト条内装置 9 の外側ベルトルー プと、前の周囲部分 12 に付断するベルト案内 装盤 10 の内側ペルトループ 19 が互いにはまり 合つている。したがつてベルト案内装 殴 9,10 のベルトは、取ね腑倒でほぼベルトの鰛だけ互 いにすれて极に並んで設けられた転向ローラ 20 を介して転向される。これらの転向ローラ 20 は装置の脳金体にわたつて延びる共通な軸線上 に配置することができる。ペルト案内装置 10 の内側ペルトループ 19 のペルトに付照するロ ーラ 20 の 遊径は、ベルト 炙内 装 版 9 の 外 側 ベ ルトループ 18 のベルトに付Ыするローラの庭 從より少し小さく、それによりペルトループ 19 とこの上を転動しない鎖ね胴1との衝突が確実 に回避される。転向ローラ 20 と前の周囲部分 12 に付出するベルト※内装置 10 の外側ベルト ループ 18 が取ね腑 1 へ乗る位置との間にある くさび状範囲には、静止案内舌片により形成さ れる枚要低条内片 21 が設けられている。くさ

ひ状態囲にある重ね枚環紙を空気筋勢により起ね胸1の周囲へ押付けることも考えられる。

それぞれ2つの脳次に続く設紙用枚採紙の間 に顔ね製品に応じて必要な中断を行なうためこ れら設紙用枚漿紙を加速するベルト案内装置 10 は、内側部分8を形成する登取り抵断片を供給 するベルト窓内装置9のように一体に提成する ことができる。設紙7はあらかじめ作られた答 き体からぬ断できるので、ベルト祭内装置 10 の範囲における加速度が大きくても裏移りのお それがない。図示した実施例ではベルト条内装 殴 10 は 2 つの順次に绕く部分 10a,10b からな り、機送方向において前にある雌ね瞬側部分」 走行するように、それらの速度を互いに段時づ けられている。これにより加速すべき卷取り紙 断片の特に強力な保護が期待される。ベルト案 内装職 10 の部分 10a および 10b をわずかな間 脳をおいて前後に配置し、この問題を節止炎内 舌片切により低度しすることができる。図示し

た災脳例では、前後に設けられるベルト案内装 図部分 10a および 10b の互いに近い方の端部題 囲が姫雄ぎ状に互いにはまり合い、それにより 雰取り紙断片の強制客内したがつてその移列を 維持しながら、微栄される断片の直接の引渡し が可能になる。それに応じて前板に設けられる ベルト祭内装置部分 10a および 10b のベルトは ほほその幅だけ互いにずれている。前後に配数 されるベルト冬内装置部分 JOa および JOb の 66 継ぎ針はまり合いすなわち貫なり筋明の長さは、 拠品の扱きに応じて可変である。前級に配置さ れるベルト条内装御部分の概送面は選なり範囲 で一致して延びているので、魔器のない移行部 ができる。環送方向において前にある高速のペ ルト条内装設部分 10b のくさび状入口間数を形 成するために、内側ベルトループ 19 に付属す る後のローラ 22 は高さ関節可能である。これ により函部分 10a,10b の間の移行範囲において 鉄取り紙筋片の強調を内を維持しながら、 顕送 すべき、袋取り紙断片の特に揺傷のない取扱いが

可能となる。

それぞれ1つの毀越1を形成する巻取り紙16 の断片を重ね腑しへ引援す前に精確に同期化す るために、前のベルト案内装置部分 10b の範囲 において後のベルト条内装置部分 10a との頂な り範囲外に、周期的にベルト条内装置の最送面 へ周期的に入り込むストツパ 23 が激けられ、 ベルト速度に対し少し低減された速度で回転し、 ベルト条内装置 10 により搬送される筍取り紙 断片の前縁がこのストッパ 23 に当つて、精確 な整列と精確な周期化を受ける。ストツパ 23 を形成するため、図示した実施例では回転する 軸 24 が設けられ、対応するベルトに対して互 い遊いのカム仮 25 がこの軸 24 上にはめられて、 それぞれ2つのベルトの間を半径方向に延び、 ストツパ 23 を形成する半径方向突出片をもつ ている。軸 24 は退続的に駆励するのが毎利で

それぞれ 1 つの設紙 7 を形成する参取り紙断 片の位図は、重ね胴 1 の回転方向において前の 周囲部分 12 に容付くベルト※内装設 10 の前の部分 10b の範囲にある光学校出装置 26 により校出され、それによりそれぞれ1 つの内側部分 8 を形成する水和 4 枚乗紙と付近する火紙用枚乗紙との初離な重なりが保証される。位置が所定の目標低からずれていると、概なち装置 14 が校出装置 26 を介して遊められるかまたは戻される。それに応じて巻取り紙 16 も逸めるかまたは戻さればならず、これを巻取り紙供給機構 27 の適当な制御によつて行なうことができる。ベルト ※内装置 10 を 2 分割構成にすると、後のベルト ※内装置 10 を 2 分割構成にすると、後

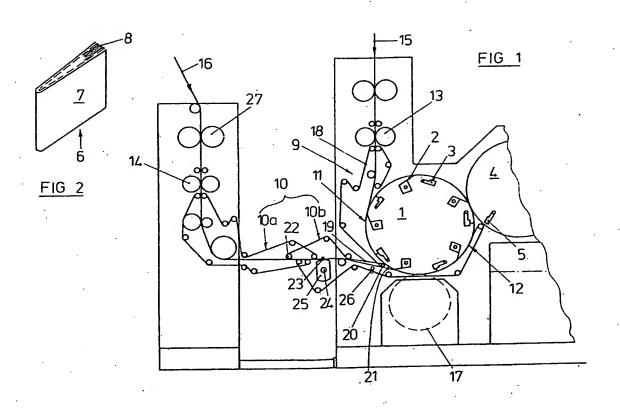
#### 4 図面の間重な説明

第1 図は別個に供給可能な災紙用枚災紙を2 段加速する完全機品の製造用可変折りたたみ装置の概略側面図、第2 図は厚い材料からなる要低とおい材料からなる内側部分とをもつ冊子の斜視図である。

1・・・・ 雄ね胴、2・・・ 保持機構、4・・・ 折りた

たみ頃、6・・冊子、7・・・要紙、8・・・内側部分、9,10・・・ベルト条内装罐、11,12・・・・ 周囲部分、15,16・・・参収り紙

特許出願人 アルベルトーフランケンタール・アクチェンケゼルシャフト 代 便 人 弁理士 中 平 治



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.